

第3次都城市文化振興計画

【概要版】



新 城

幸せ上々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統



都 城 市

新 城
幸せ上々、みやこのじょう
日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

1 計画策定の趣旨

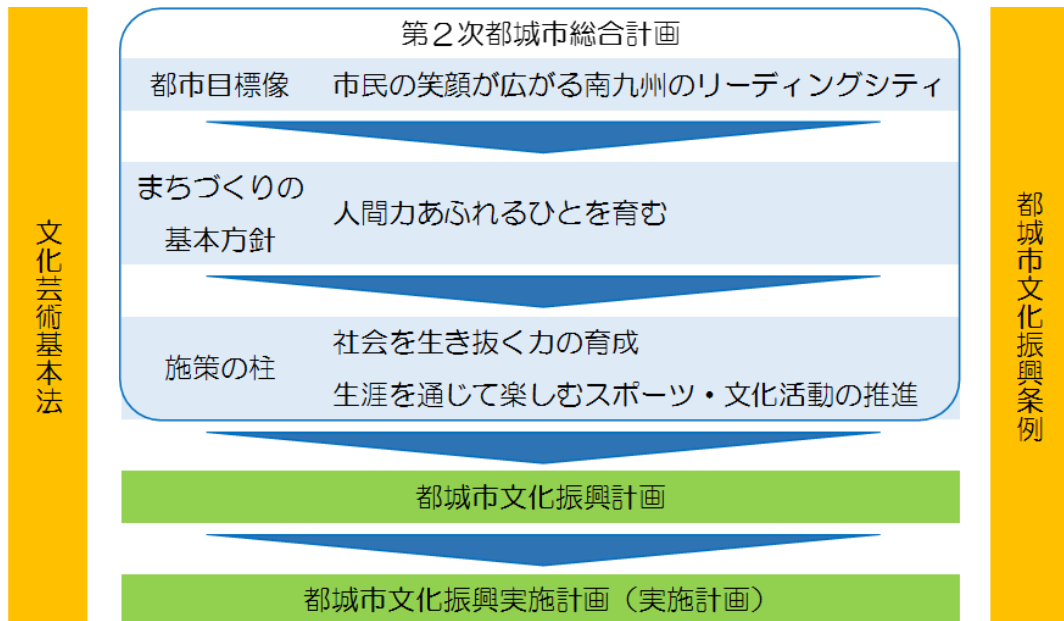
長年にわたり培われてきた伝統文化や地域文化などを継承・発展させるとともに、新たな文化の創造を図ることにより、心の豊かさを実感できる暮らしの実現を目指して2009（平成21）年度に第1次都城市文化振興計画、2018（平成30）年度に第2次都城市文化振興計画を策定しました。

また、第2次都城市文化振興計画に基づく各施策の実施計画を策定するとともに、都城市文化振興懇話会において、各実施計画の進捗状況や市民活動状況などについて客観的に評価を受けながら、文化の振興を図ってきました。

今回、それらの評価に基づき、さらなる本市の文化の発展を目指すため、第2次都城市文化振興計画を見直し、本計画を策定するものです。

2 計画の位置づけ

本計画は、文化芸術基本法第7条の2及び都城市文化振興条例第7条に基づくとともに、第2次都城市総合計画の施策の柱である「社会を生き抜く力の育成」及び「生涯を通じて楽しむスポーツ・文化活動の推進」に対応する部門計画です。本市が文化振興を進めるための基本とするだけでなく、文化振興の担い手である市民、文化団体、教育機関等の活動の指針とするものです。



3 計画の期間

2022（令和4）年度から2027（令和9）年度までの6年間とします。

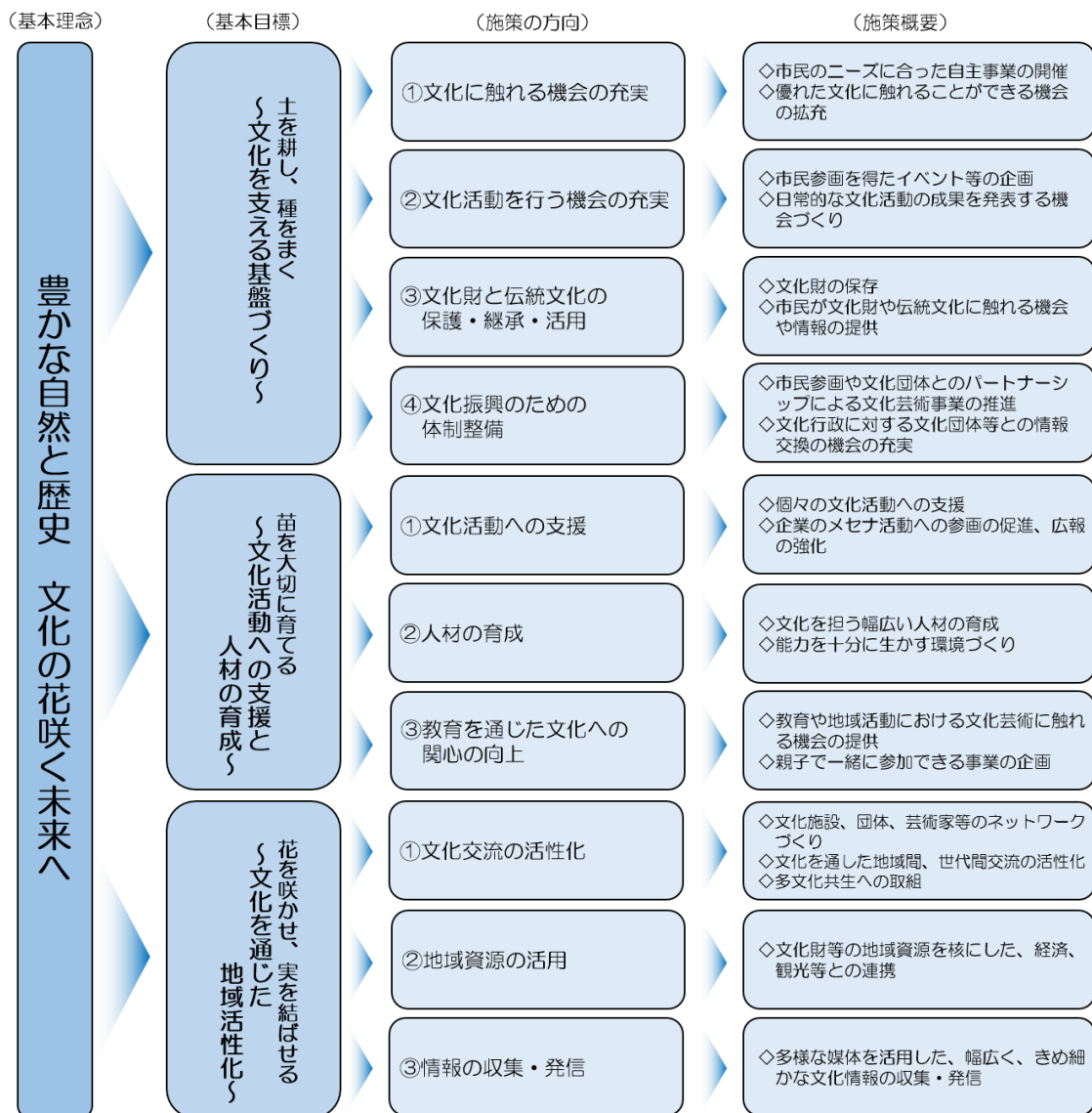
なお、計画期間については、社会情勢の変化や文化を取り巻く状況に応じ、適宜見直します。

4 本市の目指す基本理念

都城市文化振興条例第3条の基本理念を踏まえ、本市の豊かな風土や伝統文化を大切に継承するとともに、様々な活動と交流の中で新たな文化が創造される文化の花咲くまちを目指し、本計画の基本理念を次のとおりとします。

『 豊かな自然と歴史 文化の花咲く未来へ 』

5 計画の体系



6 主な評価指標

基本目標	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
土を耕し、種をまく ～文化を支える基盤づくり～	総合文化ホール (大・中ホール)の年 間利用者数	130,338人 (2019)	139,000人 (2027)
苗を大切に育てる ～文化活動への支援と人材の育成～	アウトリーチ事業* において児童生徒が文 化芸術に対し興味を持 った割合	92.0% (2020)	95.0% (2027)
花を咲かせ、実を結ばせる ～文化を通じた地域活性化～	都城市総合文化祭の 来場者数	1,190人 (2019)	1,300人 (2027)

*アウトリーチ事業…文化に触れる機会の少ない人々や関心が薄い人々に働きかけて、文化活動を提供していくこと。

7 今後の展開

(1) 市民の参画とパートナーシップによる推進

本計画推進のためには、市民、文化団体等の参画とパートナーシップのもと、それぞれの役割と責任に応じて取り組めるように推進体制の整備が必要です。

そのため、文化団体、学識経験者、市民などで構成する「都城市文化振興懇話会」を有効に活用し、文化関連事業・施策についての検証、評価、提案の仕組みの充実を図ります。

(2) 実施計画

本計画においては、施策の方向について、計画期間の最終年度の評価指標と目標値を設定しました。

また、これらの施策の方向について、年度毎に具体的な実施事業とその事業に対する評価指標や目標値を設定した実施計画を策定することで着実な施策の推進が図れるようにしました。

特に実施計画においては、毎年度、文化振興懇話会で評価・検証を行い、本計画の進捗管理を行うとともに、懇話会の意見を反映させた見直しを行います。

都城市 市民生活部 コミュニティ文化課

〒885-8555 都城市姫城町6街区21号

TEL 0986-23-2132 FAX 0986-21-3034



幸せ上々、みやこのじょう

宮崎市の未来を創る、みんなでつくる。